

# ISE バージョン 1.4 電子メールと SMS 通知の設定

## 目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[SMTP 設定](#)

[SMS 設定](#)

[SMTP を介した SMS ゲートウェイ](#)

[HTTP を介した SMS ゲートウェイ](#)

[電子メールによるクレデンシャルを使用したゲスト通知](#)

[SMS によるクレデンシャルを使用したゲスト通知](#)

[ゲスト ユーザ \( 自己登録済み \)](#)

[電子メールによるゲストの承認](#)

[電子メール/SMS によるゲスト アカウント有効期限](#)

[電子メールによって送信されるアラーム](#)

[REST API による SMS の送信](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

このドキュメントでは、複数サービスでの電子メールとショート メッセージ サービス ( SMS ) による通知をサポートするように Cisco Identity Services Engine ( ISE ) バージョン 1.4 を設定する方法について説明します。

## 前提条件

### 要件

Cisco ISE とゲスト サービスの基本的な知識をお持ちであることが推奨されます。

### 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のハードウェアとソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco AnyConnect セキュア モビリティ クライアント バージョン 3.1 を備えた Microsoft Windows Version 7
- ソフトウェア 15.0.2 以降を実行する Cisco Catalyst 3750X シリーズ スイッチ
- Cisco ISE バージョン 1.3 以降

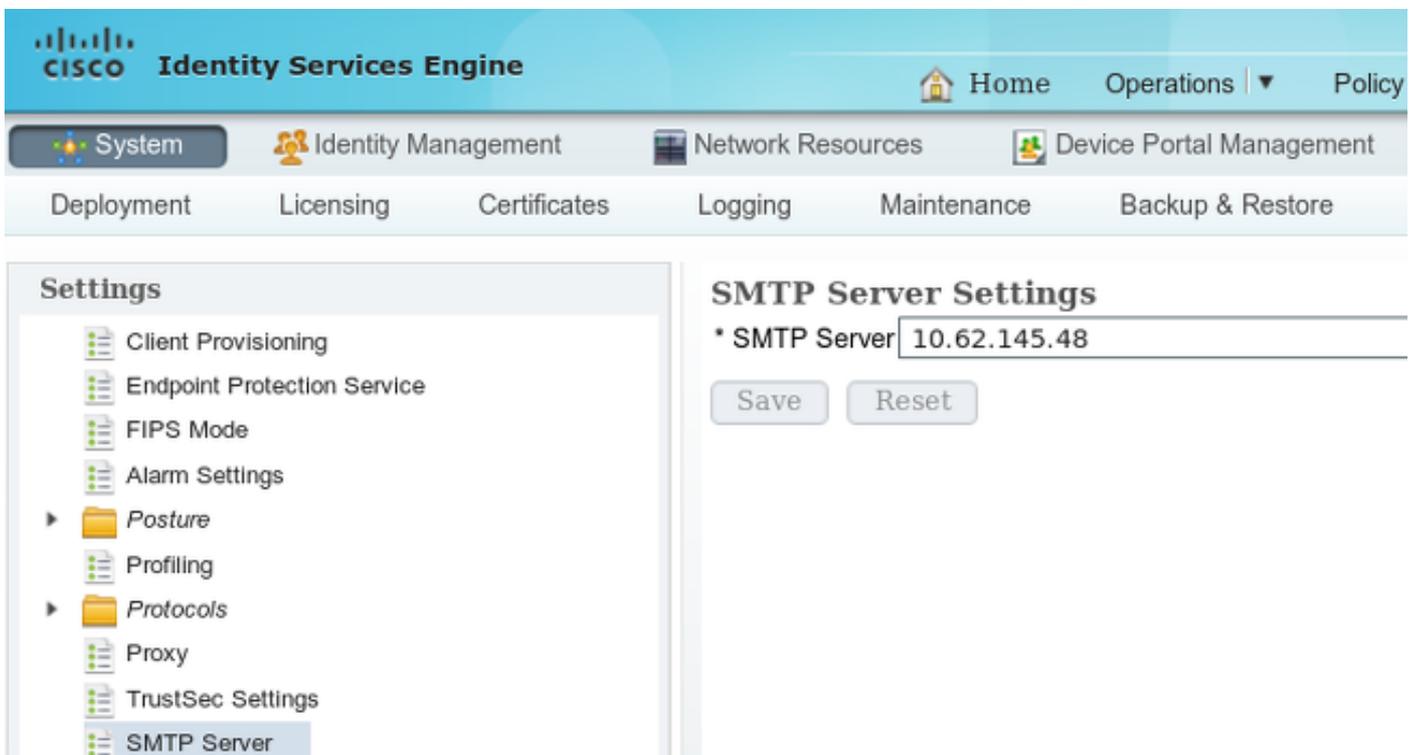
本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

## 設定

このセクションでは、ISE での、さまざまなサービスで使用する電子メール通知と SMS 通知のサポートを設定する方法について説明します。

### SMTP 設定

電子メールサービスを使用する前に、ISE には設定済みの Simple Message Transfer Protocol (SMTP) リレー サーバが必要です。サーバを設定するには、[Administration] > [System] > [Settings] > [SMTP Server]と移動します。



The screenshot shows the Cisco Identity Services Engine (ISE) Administration console. The top navigation bar includes 'Home', 'Operations', and 'Policy'. Below this is a secondary navigation bar with 'System', 'Identity Management', 'Network Resources', and 'Device Portal Management'. A third navigation bar contains 'Deployment', 'Licensing', 'Certificates', 'Logging', 'Maintenance', and 'Backup & Restore'. The main content area is divided into two sections: 'Settings' on the left and 'SMTP Server Settings' on the right. The 'SMTP Server Settings' section shows a text input field for 'SMTP Server' containing the IP address '10.62.145.48', with 'Save' and 'Reset' buttons below it. The 'Settings' sidebar on the left lists various configuration categories, with 'SMTP Server' highlighted at the bottom.

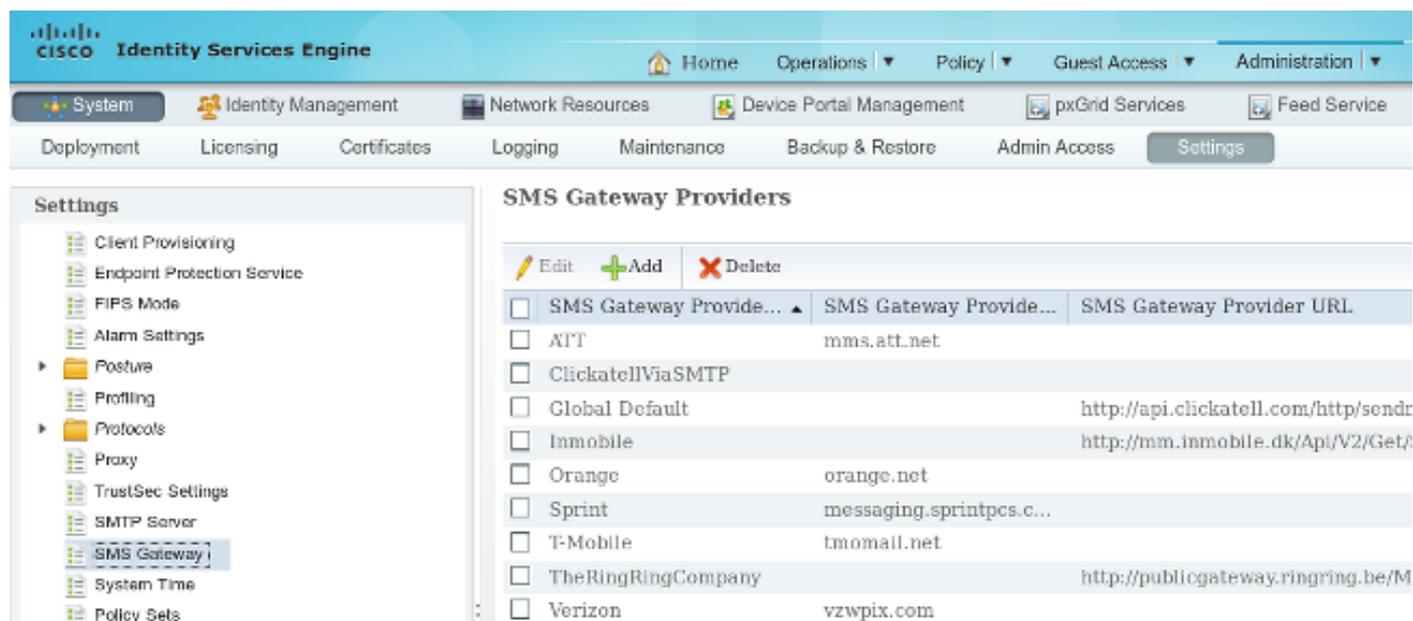
このサーバは、認証や暗号化なしで ISE からのすべての電子メールを受け入れることができる必要があります。

注: SMTP リレー サーバ設定の場合、ISE IP アドレスを例外リスト ( 認証なしまたは匿名認

証) に追加し、他のすべてのホストからの認証を要求することをお勧めします。

## SMS 設定

SMS サービスを ISE と連携させるには、固有の SMS ゲートウェイを設定する必要があります。ISE は *Smtplib2SMS* および *Http2SMS* ゲートウェイをサポートします。デフォルトでは、よく知られているプロバイダー向けに事前設定された 9 つのゲートウェイがあります (ただし使用前に調整が必要な場合もあります)。これらを設定するには、[Administration] > [System] > [Settings] > [SMS gateway]と移動します。



The screenshot shows the Cisco Identity Services Engine (ISE) Administration console. The top navigation bar includes Home, Operations, Policy, Guest Access, and Administration. The left sidebar shows the Settings menu with 'SMS Gateway' selected. The main content area displays the 'SMS Gateway Providers' configuration page, which includes a table of providers and their URLs.

<input type="checkbox"/>	SMS Gateway Provide...	SMS Gateway Provide...	SMS Gateway Provider URL
<input type="checkbox"/>	ATT	mms.att.net	
<input type="checkbox"/>	ClickatellViaSMTP		
<input type="checkbox"/>	Global Default		http://api.clickatell.com/http/sendr
<input type="checkbox"/>	Inmobile		http://mm.inmobile.dk/Api/V2/Get/
<input type="checkbox"/>	Orange	orange.net	
<input type="checkbox"/>	Sprint	messaging.sprintpcs.c...	
<input type="checkbox"/>	T-Mobile	tmomail.net	
<input type="checkbox"/>	TheRingRingCompany		http://publicgateway.ringring.be/M
<input type="checkbox"/>	Verizon	vzwpx.com	

## SMTP を介した SMS ゲートウェイ

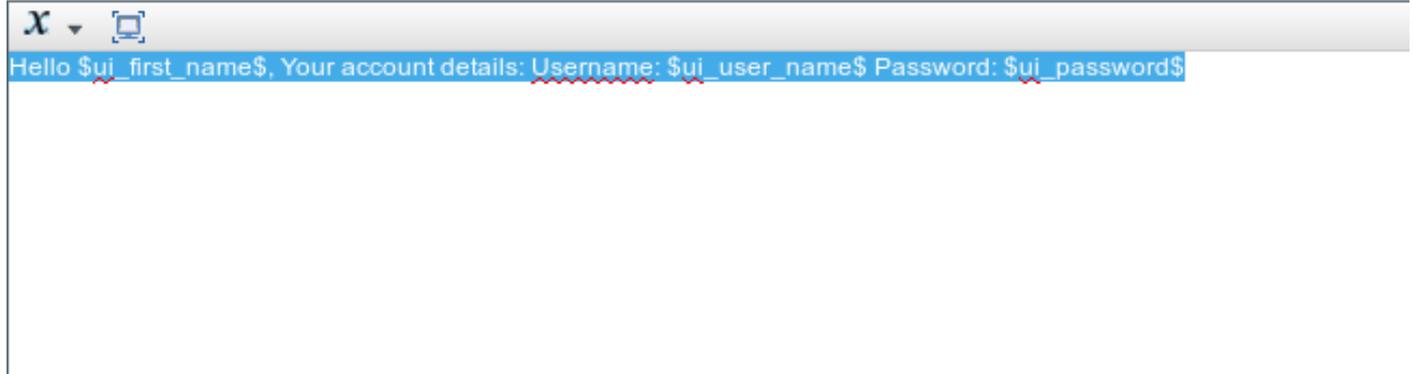
SMTP SMS ゲートウェイを設定する場合、唯一の必須フィールドは [Provider Domain] フィールドです。これについては『Cisco Identity Services Engine 管理者ガイド リリース 1.4』の「[SMS 電子メール ゲートウェイ用の SMS ゲートウェイ設定](#)」[英語] で説明されています。

デフォルト設定 (空) では、SMTP API 本文テンプレート フィールドの値は `$message$` の値と等しくなります。

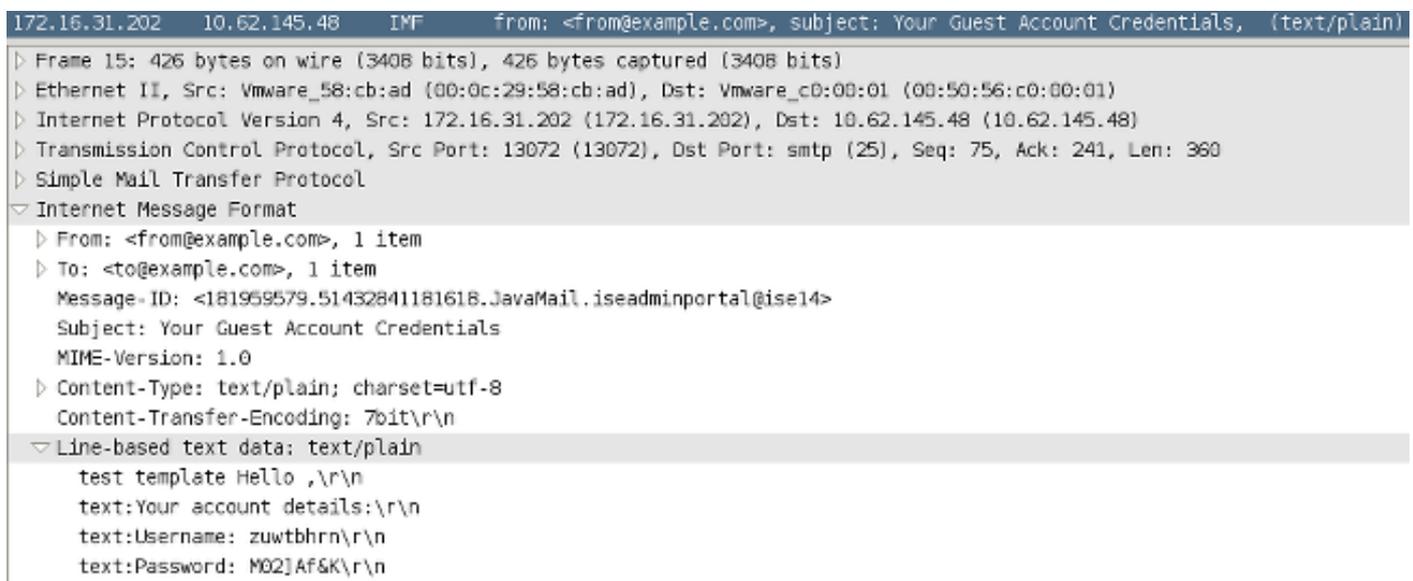
デフォルトのメッセージ値は、使用するサービスによって異なります。通知サービスの場合 (ゲストアカウントの作成時)、これはスポンサー ポータル カスタマイズ ページ ([Notify Guest] または [SMS Notification]) で設定できます。これはデフォルト値です。

## Page Customizations

Message text:



SMTP API 本文テンプレート フィールドの値もカスタマイズできます。デフォルト値に代わる、サポートされる動的置換は、`$mobilenumber$`および `$message$`です。たとえば、`test template $message$` 値を設定すると、そのデータは SMTP ペイロードに送信されます。



`test template` 文字列の後の `$message$` の値は置き換えられます ( この例では、SMS 通知サービスに置き換え )。

SMTP API 本文テンプレート フィールド値の別の例は、`test template2 $mobilenumber$` です。これは、この値が使用されるときに送信されるペイロードです。

```
▽ Internet Message Format
  ▷ From: <from@example.com>, 1 item
  ▷ To: <to@example.com>, 1 item
    Message-ID: <1598789688.71432843368072.JavaMail.iseadminportal@ise14>
    Subject: Your Guest Account Credentials
    MIME-Version: 1.0
  ▷ Content-Type: text/plain; charset=utf-8
    Content-Transfer-Encoding: 7bit\r\n
▽ Line-based text data: text/plain
  test+template2+666666666\r\n
```

`$mobilenumber$` 変数と `$message$` 変数のわずかな違いに気付くことは重要です。通常、すべての空白文字 (スペース) はエスケープされ、+ 文字で置き換えられます。`$message$` 変数が使用されるときには、それらの空白文字は保持されます。

SMTP API 本文テンプレート フィールドに複数の値で設定される SMTP SMS ゲートウェイ (ClickatellViaSMTP) の 1 つの例があります。これらのすべての値は静的です (ただし `$message$` 値と `$mobilenumber$` 値は除きます)。これらの値が提供される目的は、そのペイロードが調節可能であり、SMTP プロバイダーによって必要とされる場合がある追加のデータを提供可能であることを示すためです。大文字で表示されている値は、プロバイダーにより提供される正しい値で置き換える必要があります (それらはそのプロバイダーにより送信されるすべての電子メールで同じです)。

次に例を示します。

```
▽ Line-based text data: text/plain
  api_id:[API+ID]\r\n
  user:[USERNAME]\r\n
  password:[PASSWORD]\r\n
  to:777777777\r\n
  mo:1\r\n
  from:[FROM+NUMBER]\r\n
  text>Hello ttt,\r\n
  text>Your account details:\r\n
  text:Username: t0000007\r\n
  text>Password: Z:u*DKQ.\r\n
```

## HTTP を介した SMS ゲートウェイ

HTTP2SMS ゲートウェイの場合、HTTP *Get request* メソッドを使用するには、SMS HTTP API を入力します。

SMS Gateway Provider List > New SMS Gateway Provider

### SMS Gateway Provider

SMS Gateway Provider Name: \*

Select Provider Interface Type:

SMS Email Gateway

SMS HTTP API

URL: \*

Data (Url encoded portion):

Use HTTP POST method for data portion

HTTP POST data content type:

HTTPS Username:

HTTPS Password:

HTTPS Host:

HTTPS Port:

通常、SMS プロバイダーは、送信が必須の属性と任意の属性、送信する必要がある文字列の種類とポート番号（80 以外の場合）を必ず指示します。

以下に示すのは、*AwalJawaly* SMS サービス プロバイダーに基づく例であり、使用される URL 構造は次のとおりです。 <http://awaljawaly.awalservices.com.sa:8001/Send.aspx>

次の必須パラメータがあります。

- 要求タイプ ( SMSSubmitReq )
- Username
- Password
- [Select] を押す
- メッセージ

次のオプションパラメータがあります。

- 発信元アドレス
- タイプ
- 配信時刻
- 有効期間
- 点滅
- 承認

- 最大クレジット
- クライアント メッセージ ID
- ユーザ データ ヘッダー ( UDH )

これは、この例で使用される URL です。

`http://awaljawaly.awalservices.com.sa:8001/Send.aspx?REQUESTTYPE=SMSSubmitReq&Usern  
ame=&Test&&Password=123456&MOBILENO=$mobilenumber$&MESSAGE=$message$`

注: すべての必須フィールドは、前の URL に含まれます。 オプション フィールドは、必要であれば文字列に追加できます。

オプション フィールドについては、次のようないくつかの注意事項があります。

1. ユーザ名とパスワードをこのリンクに含める必要があります ( セキュリティ面では問題がありますが、クリア テキストを使用します )。
2. 携帯電話の番号は、スポンサー ポータルでゲスト作成操作時に、電話番号フィールドから自動的に取得されます。
3. メッセージ フィールドには、次の場所から自動的に入力されます。 [Sponsor portal] > [Portal Page Customization] > [Notify Guests] > [SMS notification] > [Message text]。  
[Use HTTP POST method for data portion]を有効にしたら、HTTP POST 要求が使用されます。

Use HTTP POST method for data portion

HTTP POST data content type:

HTTPS Username:

HTTPS Password:

HTTPS Host:

HTTPS Port:

POST 方式を使用する場合は、*plain/text* や *application/xml* などのコンテンツ タイプを指定します。他のすべての情報は、SMS サービス プロバイダーと共有する必要があります。

データ フィールドは、たいていの場合 POST メソッドで使用されます。GET メソッド用にデータ フィールドで使用されるすべての情報は、GET HTTP 要求の Uniform Resource Identifier ( URI ) の末尾に追加されます。

URL: \*

以下に GET HTTP 要求の URI の例を示します。

MOBILENO=123456789&MESSAGE=Hello+User!%2C%0AYour+account+details%3A%0AUsername%3A+user001%0APassword%3A+%5E7j%5BnvvgHello+World+%21+

\$message\$ 変数が URL リンクで使用されていないものの、情報がデータ フィールドに入力されている場合、その情報は GET HTTP 要求の URI の先頭付近 (メッセージ フィールド) に表示されます。

URL: \* :Req&Username=&Admin&&Password=123456&MOBILENO=\$mobilenumber\$&MESSAGE=Hello World !

以下に GET HTTP 要求の URI の例を示します。

MOBILENO=123456789&MESSAGE=Hello+World+%21+Hello+User!%2C%0AYour+account+details%3A%0AUsername%3A+user001%0APassword%3A+%5E7j%5Bnvvg

このエンコーディングについての注意点は次のとおりです。

- [URL] フィールド : このフィールドは URL エンコードではありません。ゲスト アカウントの携帯電話の番号は、URL に置き換えられます。サポートされる動的置換は、\$mobilenumber\$ および \$message\$ です。
- データ フィールド : このフィールドは、application/x-www-form-urlencoded システムによってエンコードされています。
- スペース : URL エンコーディングには 2 つのタイプがあり、スペースを扱う方法が異なります。1 つ目のタイプ (RFC 1738 で指定される) は、スペースを URL 内の不正文字の 1 つとして扱い、%20 でエンコードします。2 つ目のタイプ ( application/x-www-form-urlencoded システムの実装時 ) は、スペースを + 文字でエンコードし、クエリ文字列を作成するために使用されます。2 番目のオプションでは、urlencode() および urldecode() 関数を使用します。これらはローの対 (RFC 1738) とは、スペースをシーケンス %20 の代わりに正符号 (+) でエンコードするという点のみが異なります。ISE はデータ フィールドの暗号化に application/x-www-form-urlencoded システムを使用するため、スペースは + 文字として暗号化されます。

注: \$message\$ 変数が URL リンク内で直接使用されるか、または \$message\$ 変数がデータ フィールドのみで使用される場合、情報は [SMS notification] の下のメッセージ テキストから取得されます ( [Portal Customization Page] > [SMS notification] )。メッセージ テキスト フィールドのすべてのデータは、URL でエンコードされています。

次に例を 2 つ示します。

URL: \* :ame=&Admin&&Password=123456&MOBILENO=\$mobilenumber\$&MESSAGE=\$message\$

URL: \* :Req&Username=&Admin&&Password=123456&MOBILENO=\$mobilenumber\$&MESSAGE=\$message\$

以下に GET HTTP 要求の URI の例を示します。

[MESSAGE=Hello+User1%2C%0AYour+account+details%3A%0AUsername%3A+uuser001%0APassword%3A+%5E7j%5Bmvgj](#)

注: GET メソッドは HTTPS をサポートしません (これは POST メソッドのみがサポートします)。

## 電子メールによるクレデンシャルを使用したゲスト通知

スポンサー ポータルによってゲスト アカウントを作成するユーザは、その特定のユーザにクレデンシャルで電子メール通知を送信することができます。

The screenshot shows the Cisco Sponsor Portal interface. At the top, there is a header with the Cisco logo and 'Sponsor Portal' text, and a 'Welcome cisco' message. Below the header, there are four buttons: 'Create Accounts', 'Manage Accounts (6)', 'Pending Accounts (0)', and 'Notices (0)'. The main content area is titled 'Account Information' and contains a form with various fields. A 'Notify' dialog box is overlaid on the form, allowing the user to choose how to deliver a notification (Print, SMS, or Email) and to provide a sponsor's email address. The 'Email' option is selected, and the sponsor's email address is 'sponsor@example.com'. At the bottom of the page, there are 'Notify' and 'Done' buttons.

この電子メールは、事前に設定された SMTP リレーを介して、ゲストの電子メール アドレスに送信されます。スポンサーは、送信元として使用できる電子メールを提供できます。スポンサーがアカウントの作成中にゲストの電子メール アドレスを提供しない場合、ISE は次のグラフィック ユーザ インターフェイス ( GUI ) エラーを返します。

Unable to send email.

SMTP サーバ ポリシーにより、そのような電子メールを受け入れるかドロップするかが決定されます。たとえば、ドメイン *example.com* からの電子メールのみを受け入れるようにサーバを構成することができます。

## SMS によるクレデンシャルを使用したゲスト通知

このオプションを機能させるには、スポンサーは、特権が有効になっているスポンサーグループ内になければなりません。

Send SMS notifications with guests' credentials

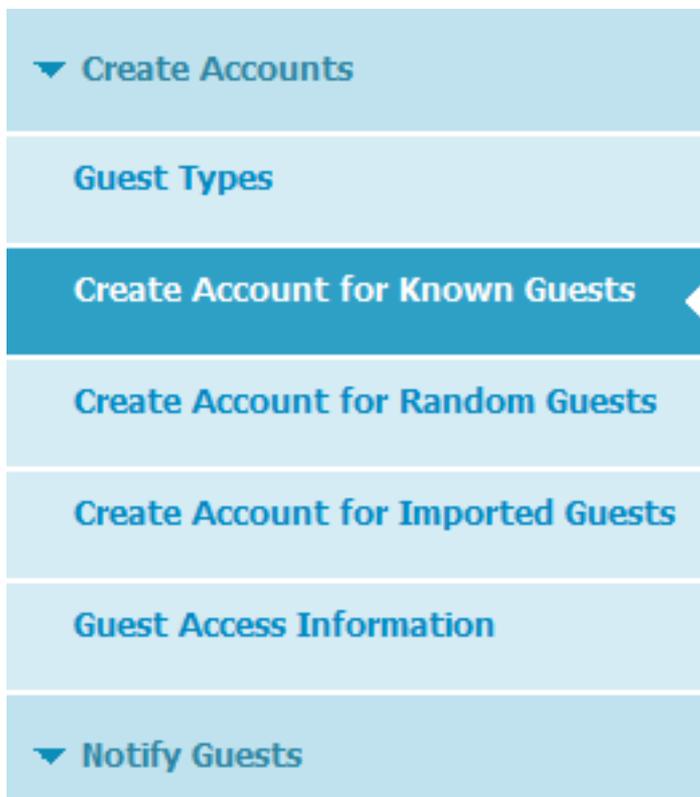
デフォルトのスポンサーグループ ( *ALL\_ACCOUNTS* ) では、その権限は無効になります。これを変更するには、[Guest Access] > [Configure] > [Sponsor Groups] > [ALL\_ACCOUNTS]と移動します。

## Sponsor Can

- View guests' passwords
  - Reset guests' account passwords
- Extend guest accounts
- Send SMS notifications with guests' credentials
- Delete guests' accounts
- Suspend guests' accounts
  - Require sponsor to provide a reason
- Reinstate suspended guests' accounts
- Approve requests from self-registering guests
- Access Cisco ISE guest accounts using the programmatic interface (Guest REST API)

SMS を介して通知を選択する場合、デフォルトでは特定の SMS プロバイダーを選択するオプションはないため、デフォルトの通知が使用されます。これを変更するには、スポンサーポータルをカスタマイズできます。

スポンサーポータルをカスタマイズするには、[Guest Access] > [Configure] > [Sponsor Portals] > [Sponsor Portal]と移動します。次に [Portal Page Customization]オプションを選択し、[Create Account for Known Guests] までスクロールダウンできます。



右ペイン内で、値を [Previous] から [Settings] に変更し、そのページで目的の SMS プロバイダーを選択します (複数可)。

**Settings specific to known guests****Fields to include**      **Required**

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> First name    | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> Last name     | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> Email address | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> Phone number  | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> Company       | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> SMS Service   | <input type="checkbox"/> |

**Provider**

Guests can choose from these SMS providers:

- |  |
|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> Global Default |
| <input checked="" type="checkbox"/> T-Mobile       |
| <input checked="" type="checkbox"/> ATT            |
| <input type="checkbox"/> Verizon                   |
| <input type="checkbox"/> ClickatellViaSMTP         |

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> Person being visited | <input type="checkbox"/> |
| <input checked="" type="checkbox"/> Reason for visit     | <input type="checkbox"/> |

[Custom Fields...](#)**Settings for known, random and imported guests**

- Allow sponsor to tag accounts as belonging to a group**
- Allow sponsor to choose notification language**
- Include AUP link**
  - Require acceptance**

[Guest portal Create Account for Known Guest]ページがカスタマイズされたら、ポータルを使用するスポンサーは、ゲスト アカウントの作成時に SMS プロバイダーを選択できるようになります。この同じプロバイダーが、以降の SMS 通知に使用されます。

Create AccountsManage Accounts (10)Pending Accounts (0)Notices (0)

**Guest type:**  
Contractor (default) ▼

Maximum devices that can be connected: 5  
Maximum access duration: 365 days

**Guest Information**

KnownRandomImport

First name:

Last name:

Email address:

Phone number:

Company:

SMS provider:  

ATTATTGlobal DefaultT-Mobile

**Access Information**

Duration:\*  
 Days (Maximum: 365)

From Date (yyyy-mm-dd) \*

From Time \*

To Date (yyyy-mm-dd) \*

To Time \*

Location:

Create

SMS ゲートウェイが到達できない場合やエラーを返さない場合には、ISE GUI が次の通知を送信します。

Unable to send SMS.

注: SMS は、ユーザが作成されていない場合は送信されませんが、ユーザ作成が完了して [Notification] ボタンをクリックすると送信されます。

## ゲスト ユーザ ( 自己登録済み )

ゲスト アカウントは、[Self-Registered Guest] ポータルで自動的に作成できます。ゲスト ユーザは、次のようにして独自のアカウントを作成できます。



## Create Account

Provide us with some information so we can create an account for you.

**Username**

**First name**

**Last name**

**Email address**

**Phone number**

**Company**

**Person being visited(email)**

**Reason for visit**

これらは ( デフォルトでは ) 同じ Web ページでクレデンシャルとともに次のように表示されます。



## Account Created

Use the following information to sign on to the network.

**Username:** test  
**Password:** o0  
**First name:** test  
**Email:** mgarcarz@cisco.com  
**Location:** San Jose  
**SMS provider:** Global Default

Sign On

これらのクレデンシャルは、電子メールまたは SMS で配信することもできます。

特定の自己登録ゲストに対して複数の SMS ゲートウェイを許可するには、[Guest Access] > [Configure] > [Guest Portals] > [Self Registered Guest Portal] > [Self Registration Page Settings]と移動します。

SMS Service Provider

Guests can choose from these SMS providers:

- Global Default
- T-Mobile
- ATT
- Verizon
- Global Default

*Guest see providers list only if multiple are selected*

ゲストは、アカウントの作成時に SMS プロバイダーを選択できます。これは、携帯電話にクレデンシャルを配信するために使用されます。



## Create Account

Provide us with some information so we can create an account for you.

**Username**

**First name**

**Last name**

**Email address**

**Phone number**

**Company**

**SMS provider**

ATT	▼
ATT	
Global Default	
T-Mobile	

**Reason for visit**

登録が完了すると、パスワードは次のページに表示されます。そのようにしたくない場合は、ポータル内の [Self Registration Success Settings] セクションで無効にできます。その同じページから、ゲストに電子メールまたは SMS によって通知を手動で送信することを許可できます。

## ▼ Self-Registration Success Settings

Include this information on the Self-Registration Success page:

- User name
- Password
- First name
- Last name
- Email address
- Phone number
- Company
- Location
- SMS Service Provider
- Person being visited
- Reason for visit

Allow guest to send information to self using:

- Print
- Email
- SMS

電子メールまたは SMS（あるいはその両方）でクレデンシャルを自動的に送信するには、[Self Registration Page Settings]の最後のセクションをカスタマイズします。

Send credential notification automatically using:

- Email
- SMS

このケースでは、電子メール アドレスと電話番号がゲスト アカウントの作成時に入力される必要があります。

これは（ユーザが登録した直後に）通知を自動的に送信できる、唯一のゲストフローです。ゲストユーザアカウントがスポンサーによって作成された場合は、このオプションは使用できず、通知はスポンサーが [Notification] ボタンを手動でクリックした後に送信されます。

## 電子メールによるゲストの承認

前のセクションで説明したように、ゲストは自分自身を登録し、アカウントを自動的に登録することができます。ただし、このプロセスに対してスポンサーの承認を有効にすることもできます。

その場合、スポンサーは承認を行う必要がある電子メールを受信します（電子メール内の特定のリンクをクリックして承認します）。そのように初めて、ゲストアカウントはアクティブ化されます。この機能を設定するには（デフォルトでは無効になっています）、[Guest Access] > [Configure] > [Guest Portals] > [Self Registered Guest Portal] > [Self Registration Page Settings] と移動し、[Require self-registered guests to be approved] オプションをオンにします。

Require self-registered guests to be approved

[Guest Access](#) > [Settings](#) > [Guest Email Settings](#)

Email approval request to:

さらに、ゲストアカウントを承認できるスポンサーの電子メールアドレスを入力する必要があります。

以下に示すのは、[Guest Email Settings] ページで設定できる追加の設定項目です。

▼ **Guest Email Settings** Identify the SMTP server and specify the email address

SMTP server: 10.62.145.48

Configure SMTP server at:  
[Administration](#) > [System](#) > [Settings](#) > [SMTP](#)

**Enable email notifications to guests**

Default 'From' email address:\*

Send notifications from sponsor's email address (if sponsored)

Always send notifications from the default email address

これらの設定は、すべてのタイプのゲスト通知に適用されます（スポンサー承認のみに制限されません）。

## 電子メール/SMS によるゲスト アカウント有効期限

ゲスト ユーザは、アカウントの有効期限が近づいてきたときに通知を受け取ることができます。これを（ゲスト タイプごとに）設定するには、[Guest Access] > [Guest Types] > [Contractor]と移動します。

**Account Expiration Notification**

Send account expiration notification  days before account expires

View messages in:

Email

Use customization from:

Messages:  Copy text from:

Send test email to me at:  
email address

*Configure SMTP server at: [Administration > Systems > Settings > SMTP server](#)*

SMS

Messages:  Copy text from:

*(160 character limit per message)\*Over 160 characters requires multiple messages.*

Send test SMS to me at:  
phone number

*Configure SMS service provider at: [Administration > Systems > Settings > SMS Gateway](#)*

These sponsor groups can create this

Sponsor Groups:

- Global Default
- T-Mobile
- ATT
- Verizon
- ClickatellViaSMTP
- Orange
- Inmobile
- TheRingRingCompany
- Sprint

契約者であるすべてのゲストは、アカウントの有効期限が切れる 3 日前に通知を受け取ります。この通知は、SMS または電子メール（あるいはその両方）で送信できます。SMS 固有のプロバイダーを選択して、すべてのゲストに使用することができます（特定のゲストが、自己登録したり別の SMS プロバイダーの使用が許可されていたりする場合でもそのようにできます）。

同じセクションに、[Send test email to me at] オプションがあります。これにより、SMTP サーバの可用性と設定をテストできます。電子メール アドレスを入力したら、次の電子メール メッセージが送信されます。



Your account is going to expire in 3 days. Please notify your sponsor to extend your account now to avoid any delays.

## 電子メールによって送信されるアラーム

ISE は、検出されたシステム アラートに対する電子メールを送信できます。この機能を有効にするには、[Administration] > [System] > [Alarm Settings] > [Alarm Notification]と移動し、送信元および送信先電子メール アドレスに入力します。

特定のアラームが [Alarm Configuration]セクションで有効になっていることを確認します。

## Alarm Settings

有効になっていると、アラームのトリガー時に電子メールが送信されます。以下に示すのは、送信される標準的なアラートの例です。

**ISE Alarm : Warning : No Accounting messages in the last 15 mins**

No Accounting Start

Details :

No Accounting messages in the last 15 mins

Description :

No Accounting messages have been received from Network Device(s) in the past 15 minutes for any of the session(s) authorized by ISE Policy Service Nodes

Suggested Actions :

Ensure RADIUS accounting is configured on the Network Device(s), Check Network Device(s) configuration for local Authorization

\*\*\* This message is generated by Cisco Identity Services Engine (ISE) \*\*\*

Sent By Host : isel3

## REST API による SMS の送信

ISE は、ゲスト ユーザの作成に、ゲスト REST API を使用できます。ゲスト ユーザを正しい SMS プロバイダーで作成すると、SMS をゲスト REST API で送信できるようになります。次に例を示します。

```
PUT https://<ISE-ADMIN-NODE>:9060/ers/config/guestuser/sms/444/portalId/ff2d99e0-2101-11e4-b5cf-005056bf2f0a
```

```
Authorization: Basic xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx
```

```
Accept: application/vnd.com.cisco.ise.identity.guestuser.2.0+xml
```

この例では、444 がゲスト ユーザ ID であり、長い文字列 ( ff2d99e0-2101-11e4-b5cf-005056bf2f0a ) がポータル ID ( スポンサー ポータル ) です。

**注:** 正しいスポンサー ユーザの基本 HTTP 認証が必要です。詳細については、『[API リファレンスガイド](#)』を参照してください。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [Cisco Identity Services Engine 管理者ガイド リリース 1.3](#)
- [Cisco Identity Services Engine 管理者ガイド リリース 1.4 の「ゲスト アクセスの設定」](#) [英語]
- [Cisco Identity Services Engine API リファレンス ガイド リリース 1.4 の「ゲスト ユーザへの SMS テキストの送信」](#) [英語]
- [Cisco Identity Services Engine 管理者ガイド リリース 1.3 の「SMS ゲートウェイの設定」](#) [英語]
- [Cisco ISE の管理](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)